

令和6年度

# 編入学生募集要項



試験日	出願期間	選抜結果発表
令和5年8月2日(水)	令和5年7月11日(火)から 令和5年7月14日(金) ※窓口受付は、午前9時から午後4時 ※郵送の場合、最終日は午後5時必着	令和5年8月7日(月)

※新型コロナウイルス感染症の影響等により、選抜期日の変更、選抜方法や追試験の実施等、本要項に記載している内容を変更する場合があります。その場合は、可能な限り速やかに本校ホームページでお知らせしますので、最新の情報を確認するよう留意してください。

独立行政法人国立高等専門学校機構

## 和歌山工業高等専門学校

〒644-0023 和歌山県御坊市名田町野島77

電話 0738-29-8241, 8242 (学生課)

FAX 0738-29-8254 (学生課)

ホームページアドレス

<https://www.wakayama-nct.ac.jp>

入学試験メールアドレス

[nyushi@wakayama-nct.ac.jp](mailto:nyushi@wakayama-nct.ac.jp)

## 本科（編入学）アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

和歌山工業高等専門学校では、講義のほかに実験・実習に重点をおいた教育を行い、高度な知識と技術を身につけ、新しい時代に対応した創造力に富み、人間性豊かで、また、国際社会にも貢献できるエンジニア育成のための教育・指導を行っています。

この理念のもと、本校では次のような適性と能力を持った人を、調査書、面接、志望理由書、推薦書により確認し、受け入れます。

- ・基礎学力に基づき、自らの考えを文書や口頭で説明・理解させることができる人
- ・科学技術に興味を持ち、志望する学科の専門知識と技術を修得したい人
- ・自ら積極的に行動し、充実した高専生活を送りたい人
- ・将来、修得した専門知識や技術を活かした仕事に就きたい人

さらに、各学科では次のような人を求めます。

### ○知能機械工学科

- ・ロボットなどの知的機械を自作するための知識と技術を学びたい人
- ・自らの工夫で新しい装置を創造する意欲のある人
- ・機械工学を通して人と地球にやさしい社会の形成に貢献したい人

### ○電気情報工学科

- ・電気エネルギーで私たちの社会を豊かにしたい人
- ・アプリや人工知能のしくみを学びたい人
- ・ロボットなどを思い通りに動かすための知識と技術を学びたい人

### ○生物応用化学科

- ・化学的に、人に役立つ物質を作ったり、新しい物質・素材を発明したい人
- ・生物の力を活かして有用な物質を作ったり、未知の生体に関連する物質を発見したい人
- ・国際性を身につけつつ、地域の特徴や環境に配慮したものづくりをしたい人

### ○環境都市工学科

- ・街・道・港・橋などをつくりたい人
- ・地球環境を守りたい人
- ・災害から人の命を守りたい人

## 令和6年度

# 和歌山工業高等専門学校編入学生募集要項

### (1) 募集人員

知能機械工学科 }  
電気情報工学科 } 各科とも若干名。  
生物応用化学科 }  
環境都市工学科 } なお、和歌山県教育委員会との連携協力に関する協定に基づき、出身学校が和歌山県内の志願者を対象に若干名の特別枠を設け選抜します。

### (2) 編入学年

第4学年次に編入します。

### (3) 出願資格

次の①～②の各号いずれかおよび③に該当し、在籍高等学校長が人物・学力ともに優秀であると認めて推薦する者で、本校への入学の意志が堅固な者としてします。

- ① 高等学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者。
- ② その他本校において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。
- ③ 出身学校の1～2年次の平均の席次が成績上位1割以内かつ2年次の席次が成績上位1割以内の者。

### (4) 志望学科

全学科出身学校の学科に関係なく志望することができます。

### (5) 出願期間

- ① 受付期間 令和5年7月11日(火)から7月14日(金)まで。  
(郵送の場合、7月14日(金)午後5時必着のこと。)
- ② 受付時間 午前9時から午後4時まで。
- ③ 受付場所 和歌山工業高等専門学校 学生課(入試担当)  
(和歌山県御坊市名田町野島77)

### (6) 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

和歌山工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、**早めに**和歌山高専学生課までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一月前にあたる令和5年6月14日を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告(第二次まとめ)」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)高等学校等の本校入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても学生課入試担当までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、学生課入試担当において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

(7) 提出書類等

① 編入学願書	本校所定の様式に、必要事項を記入したもの。
② 写真票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を貼付したもの(写真は出願前3ヶ月以内に撮影し、上半身、脱帽、正面向き、大きさ縦5cm×横4cmで、裏面に氏名(ふりがな)を記入したもの)。
③ 受験票	本校所定の様式に、必要事項を記入したもの。
④ 志望理由書	本校所定の様式に、志望理由を記入したもの。
⑤ 調査書	出身学校所定の様式に出身学校長が作成し、厳封したもの。卒業見込み者の成績・出欠の記録は、第2学年までのものを記入してください。また、備考欄に席次(第1・2学年それぞれについて「〇〇人中〇位」)を記入してください。
⑥ 推薦書	本校所定の様式を使用し、出身学校長が証明し厳封したもの。
⑦ 返信用封筒	長型3号封筒に、受験者の郵便番号、住所、氏名を明記し、返信用切手354円を貼ったもの。(郵便料金に変更された場合は、定形郵便物50g以内+速達料金分の郵便切手をお貼りください。)
⑧ 入学検定料 (払込受付証明書提出票)	16,500円 本校所定の振込取扱票に必要事項を記入のうえ、銀行等の窓口で振込み、「払込受付証明書(学校提出用)」を「払込受付証明書提出票」に貼付したもの。

(8) 出願上の注意事項

- ① 出願書類の記入は、黒ボールペンを使用してください。
- ② 出願書類に不備がある場合は、受付できません。
- ③ 出願書類提出後は、その記載事項の変更は認めません。ただし、現住所及び受験票や合格通知を受け取る場所に変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。
- ④ 一度受理した書類は、返還しません。
- ⑤ 出願書類を郵送する場合は、必ず速達・書留郵便としてください。
- ⑥ 提出書類の記載事項は正確に記入してください。記載事項に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑦ 振込み済の入学検定料について

振込み済の入学検定料については、入学検定料を振り込んだが本校に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合、または入学検定料を重複して振り込んだ場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

入学検定料を振り込んだが本校に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合、または入学検定料を重複して振り込んだ場合は、以下により入学検定料の返還手続きを行ってください。

「検定料返還請求書」(様式は問わない)を作成し、①氏名(押印)、②現住所、③連絡先(電話番号等)、④振込口座(銀行・支店・預金の種別・番号・名義カタカナ)を明記し、必ず「払込金(兼手数料)受領証」及び「払込受付証明書(学校提出用)」及び「口座番号を含め、振込先が確認できるもの(通帳のコピー等)」を添付して、下記送付先までご郵送願います。(返還には、「検定料返還請求書」を受理後、約3週間程度の期間を要します。)

※ 独立行政法人等個人情報保護法により、ご提出いただきました確認書類は検定料返還業務以外には使用いたしません。

送付先 〒644-0023 和歌山県御坊市名田町野島77 和歌山工業高等専門学校 総務課財務企画係 宛

(9) 選抜方法

- ① 得点の配分を次のとおりとします。

調査書 50% (評定のみではなく、調査書に記載された各項目を総合的に評価)  
面接 (口頭試問を含む) 50%

- ② 面接で行う口頭試問の出題教科は、下表のとおりとします。

志望学科	出題教科
知能機械工学科	「専門 (機械工学)」または「数学・物理」のいずれかを選択
電気情報工学科	「専門 (電気回路・電気磁気学・情報技術基礎、数学を含む)」のみ
生物応用化学科	「専門 (化学)」または「数学・化学」のいずれかを選択
環境都市工学科	「専門 (構造設計・水理学・測量)」のみ

- ③ 志望理由書、推薦書は面接時の参考資料として使用します。

(10) 日程、面接の実施場所及び集合場所

- ① 日程

期 日	実 施 内 容	時 間
8月2日 (水)	集合	14:00
	日程説明・諸注意	14:00～14:20
	面接 (口頭試問を含む)	14:20～

- ② 面接の実施場所

和歌山工業高等専門学校 (和歌山県御坊市名田町野島77)

- ③ 集合場所

受験票送付時に通知します。14時までに本校の指定する場所に集合し、受付を済ませてください。

(11) 受験上の注意事項

- ① 受験者の持参品は、受験票、筆記用具及び本校で指定するもの。  
② 遅刻限度は、公共交通機関の遅延等やむを得ない場合を除き、14時20分までとします。

(12) 合格発表

- ① 令和5年8月7日 (月) 午前10時に本校に掲示するとともに、推薦校の学校長宛に合否を文書で通知 (郵送) し、併せて合格者には「合格通知書」を交付 (郵送) します。  
② ホームページ (<https://www.wakayama-nct.ac.jp>) 上に、合格者の受験番号が確認できる一覧を掲載します。  
③ 電話による合否の問い合わせには応じませんので、ご了承ください。

(13) 入学についての回答書について

- ① 合格通知を受けた者は、「入学についての回答書」を令和5年8月21日 (月) (午後5時必着) までに、本校学生課 (入試担当) へ提出してください。  
② 期限までに回答書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。  
③ 「入学についての回答書」で、本校への入学を確約した者に対し、事前学習の指導を行います。

(14) 入学手続きについて

入学手続、入学に必要な書類、経費等については、「入学についての回答書」で、本校への入学を確約した者に対し、3月上旬に通知します。

(15) 入学試験に係る個人情報の取扱について

- ① 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
  - ・ 入学後の教育・指導
  - ・ 入学料、授業料の免除申請の審査
  - ・ 奨学金申請の審査
  - ・ 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査研究
- ② 本校合格者の氏名、住所、電話番号に限り、本校の学生の保護者からなる団体である後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。
- ③ 本校合格者の氏名、住所、電話番号に限り、本校の学生の卒業生等からなる団体である同窓会からの連絡を行うために利用する場合があります。

(注) 後援会、同窓会からの連絡を希望しない場合は、本校学生課（入試担当）までその旨申し出てください。

(16) その他募集要項に関して

募集要項に関し不明な点は、下記まで照会してください。

〒644-0023 和歌山県御坊市名田町野島77 和歌山工業高等専門学校 学生課（入試担当） TEL 0738-29-8241, 8242 FAX 0738-29-8254 E-Mail nyushi@wakayama-nct.ac.jp ホームページアドレス <a href="https://www.wakayama-nct.ac.jp">https://www.wakayama-nct.ac.jp</a>
--

# 和歌山工業高等専門学校概要

## 1. 創立

和歌山工業高等専門学校は、「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する」ことを目的に昭和39年4月に設置され、現在、知能機械工学科、電気情報工学科、生物応用化学科、環境都市工学科の4つの学科があります。

また、平成14年4月には、専門的なエンジニアを育成するため、メカトロニクス工学専攻、エコシステム工学専攻の2専攻で、専攻科が設置されました。

## 2. 教育理念と人材養成目的

本校は、5年間の一貫教育を通じて、エンジニアとしての素養を身につける基礎教育と、実践を重視した専門教育を効果的に行うことにより、工学を社会の繁栄と環境との調和に生かすための創造力と問題解決能力を身につけ、豊かな人間性と国際性を備えた人材の育成を目指す。

とりわけ自然環境に恵まれた和歌山県中南部に位置する本校は、地域社会の特色を生かしつつ、地球環境に配慮した新技術の開発に貢献することにより、新たな課題に挑戦する。

こうした環境と地域連携を考慮した教育・研究活動が、国際社会へもアピールできるよう努力を重ねる。

また、各学科の人材養成目的は、次のとおりとする。

学科名	人材養成目的
知能機械工学科	幅広い産業における機器やシステムの設計、開発、研究、保守、操業等の業務において、創造的かつ主体的に取り組むための基礎技術や制御・知能化技術を含めた総合力を身につけ、日々進歩する科学技術を推進できる基本的学識と知的好奇心を備えた機械技術者の養成
電気情報工学科	私たちの豊かな生活を支え、社会、産業の発展に大きく寄与している電気・電子・情報・通信などの基礎技術を身につけ、日々進歩し続ける電気情報技術に柔軟に対応できる課題発見解決型の電気情報技術者の養成
生物応用化学科	人々の生活を支える様々な物質について、化学および生物工学に基づく基礎的理解と工学的センスを身につけ、ものづくりに誇りを持って地球環境保全の立場から人類に役立つ物質を実践的に創造できる化学・生物工学技術者の養成
環境都市工学科	地震や津波に対する防災技術、地球温暖化問題に対する環境保全・自然との共生をはかる環境マネジメント技術、機能的で快適な街をつくる都市計画技術、橋梁など社会基盤の構造設計技術などを身につけ、グローバルデザイン能力に優れた創造的技術者の養成

## 3. 学科紹介

### ○ 知能機械工学科

産業革命から約200年、我々の技術は機械から電気・情報へと発展してきました。では機械はもう過去の物なののでしょうか？そんなことはありません。家電をはじめとするエレクトロニクス製品も情報通信のソフトウェアも、機械のハードウェアがあってはじめてうまく働きます。これらの技術を開発し支えてきたのは、機械技術者であるといっても過言ではありません。21世紀は環境問題が取り上げられ、生命科学が発展を遂げる、科学技術の転換期でもあります。ぜひ知能機械工学で新しい時代をクリエイティブしましょう。

### ○ 電気情報工学科

現在、私たちの生活のあらゆるところに電気が使われています。家庭にある電化製品、スマートフォンといった通信機器、工場の産業用ロボットも電気がないと動かすことすら出来ません。また、情報通信技術の急速な発展から、インターネットを通じてさまざまなサービスが当たり前のように受けられるようになって来ています。つまり電気・電子・情報系分野は、私たちの生活に密着しており、人類の発展のために重要な役割を果たしていると言えます。電気情報工学科では電気・電子・情報系分野の講義や実験を通して、人類の未来を切り拓くことのできる人材育成を行っています。

## ○ 生物応用化学科

身の回りに存在する様々な物質について、化学・生物をベースに学習、実験し、さらに創造して行く学科です。低学年では特に化学・生物の基礎力、英語力や計算力の充実をはかり、4年生からは専門的な「生物化学コース」と「応用化学コース」に分かれるのが特徴です。多くの授業や実験を行うことで、化学やバイオテクノロジーに関する深い知識、技術が身につきます。将来は、化学薬品、化粧品、食品、エネルギー等の分野で、関連した化合物を分析・創造する“分子を操る”プロフェッショナルとして活躍できます。

## ○ 環境都市工学科

環境都市工学科は、安全・安心・便利・快適・豊か・にぎわいといった様々な要素をまちにもたらすための技術を学ぶ学科です。本学科では「学」と「楽」が調和した、「楽」しんで「学」べる教育体系になっています。すなわち、教室や実験室での学びである「学」と、学外での様々な活動である「楽」（フィールド調査、デザインコンペティション、コンクリートカヌー）を融合することで、「知」と「技」を自由自在に応用できる人材育成に努めています。学生の皆さん、人々が住まうまちのプロデューサーを目指しませんか？

## 4. 編入学後の教育課程（参考）

各学科に共通する一般科目と学科別の専門科目に分け履修することになります。

4・5年生での授業科目は次のとおりです。

区分	知能機械工学科	電気情報工学科	生物応用化学科 (応用化学コース)	生物応用化学科 (生物化学コース)	環境都市工学科
専 門 科 目	応用数学 工業外国語 振動工学 材料力学 材料学 工業熱力学 流体力学 機械設計法 機械システム工学 機械設計製図 電子制御Ⅱ 電子制御Ⅲ 自動制御 情報処理 メカトロニクス設計 計測工学 機械工学実験 卒業研究	応用数学 工業外国語 電子回路Ⅱ 情報通信 回路網理論 電子工学 電気材料 電子計測 自動制御 OSとセキュリティ 電気情報工学実験 卒業研究	応用数学 応用物理 有機化学 無機化学 物理化学 化学工学 発酵科学 生物化学 機器分析 高分子化学 材料化学 合成化学 反応工学 生物応用化学実験Ⅳ 工学ゼミナール 卒業研究	応用数学 応用物理 有機化学 無機化学 物理化学 化学工学 発酵科学 生物化学 機器分析 高分子化学 分子生物学 反応工学 生物応用化学実験Ⅳ 工学ゼミナール 卒業研究	応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 応用情報処理演習 構造力学Ⅲ 構造力学Ⅳ 橋梁工学 土質力学Ⅱ 水理学Ⅱ 河川工学 都市地域計画 測量学Ⅲ 環境工学Ⅱ 環境工学Ⅲ 施工管理学 設計製図Ⅱ 設計製図Ⅲ 基礎実験Ⅱ 環境都市工学演習 卒業研究
科 目	材料強度学 流体工学 生産管理工学 情報工学 企業実践講座 学外実習 県内インターンシップ	システム設計 IC応用回路 電気磁気学Ⅱ 電気設計 パワーエレクトロニクス 送配電工学 発変電工学 高電圧工学 電気法規・電気施設管理 企業実践講座 学外実習 県内インターンシップ	分子生物学 先端工学概論 地域イノベーション学概論 計測制御工学 移動速度論 食品工学 天然資源化学 生物資源科学 企業実践講座 学外実習 県内インターンシップ	材料化学 合成化学 先端工学概論 地域イノベーション学概論 計測制御工学 移動速度論 食品工学 天然資源化学 生物資源科学 企業実践講座 学外実習 県内インターンシップ	振動工学 耐震工学 社会基盤メンテナンス工学 地盤工学 海岸工学 計画数理 交通システム 環境工学Ⅳ 企業実践講座 学外実習 県内インターンシップ

一 般 科 目	必修科目	保健・体育	英語	日本経済論
	選択科目	地域と文化A 英語A 第2外国語AⅠ 第2外国語AⅡ	地域と文化B 英語B 第2外国語BⅠ 第2外国語BⅡ	地域と文化C 第2外国語CⅠ 第2外国語CⅡ

## 5. 編入学時に要する経費

入学料 84,600円（入学手続き時に納入）  
授業料（年額）234,600円（年2回（4月・10月）に分けて納入）  
（在学中に授業料改定が行われた場合は改定時から新授業料が適用されます。）  
なお、この他教科書、教材費、学生会費等が必要です。

## 6. 入学料及び授業料の免除及び奨学金制度について

入学料、授業料の免除及び奨学金制度は、以下のような制度があります。詳細は担当係まで問い合わせてください。

- 国立高等専門学校機構の制度による入学料・授業料免除
- 日本学生支援機構高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料の減免
- 日本学生支援機構貸与奨学金
- その他の奨学制度

（奨学金等担当係） 学生課学生係 電話 0738-29-8244

## 7. 学寮

自宅通学が困難等の理由により、入寮を希望する学生には、合格後、入寮希望申請の書類を提出していただき、選考の上、学生寮に入ることができます。（入寮希望の申請は、11月に行います。また、入寮期間は1年間で、毎年、選考を行います。）

なお、在寮生の1か月あたりに必要な生活費は、次のとおりです。

・ 寄宿料（個室）（月額）	800円	・ 給食費（月額）	約25,000円
			（営業日数等により変動します。）
・ 寮生負担金（月額）	11,800円	・ 寮生会費（年額）	1,440円
（光熱水料等の共益費（令和5年度））			（年2回（5月・10月）に分けて納入）

## 9. 卒業後の進路

### (1) 就職先について

各企業からの求人は非常に多く、毎年高い就職率を誇っています。

[主な就職先] (令和5年3月卒業生)

旭化成(株)、旭化成メディカル(株)、NTT インフラネット(株)、NTT コムウェア(株)、大阪ガス(株)、花王(株)、(株)カネカ、関西電力(株)、キリンビール(株)、キヤノンメディカルシステムズ(株)、京セラ(株)、近畿日本鉄道(株)、(株)クボタ、(株)小松製作所、五洋建設(株)、サントリープロダクツ(株)、スズキ(株)、(株)SUBARU、ソフトバンク(株)、ダイキン工業(株)、東海旅客鉄道(株)、凸版印刷(株)、東レ(株)、西日本高速道路(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪神高速技術(株)、明治(株)、森永乳業(株)、雪印メグミルク(株)、国土交通省近畿地方整備局、和歌山県、紀の川市、海南市、御坊市 他

### (2) 進学先について

高専卒業後もさらに勉強を続けたい人は、高専の専攻科（修学年限2年）及び大学（3年次編入学）に進学することができます。

#### ・高専の専攻科

本校にはメカトロニクス工学専攻、エコシステム工学専攻からなる専攻科が設置されています。本校の専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の特例認定（学位規則第6条第1項の規程に基づく学士の学位の授与に係る特例に関する規則）を受けており、所定の要件を満たすことにより、専攻科修了時に学士（工学）の学位を取得できます。

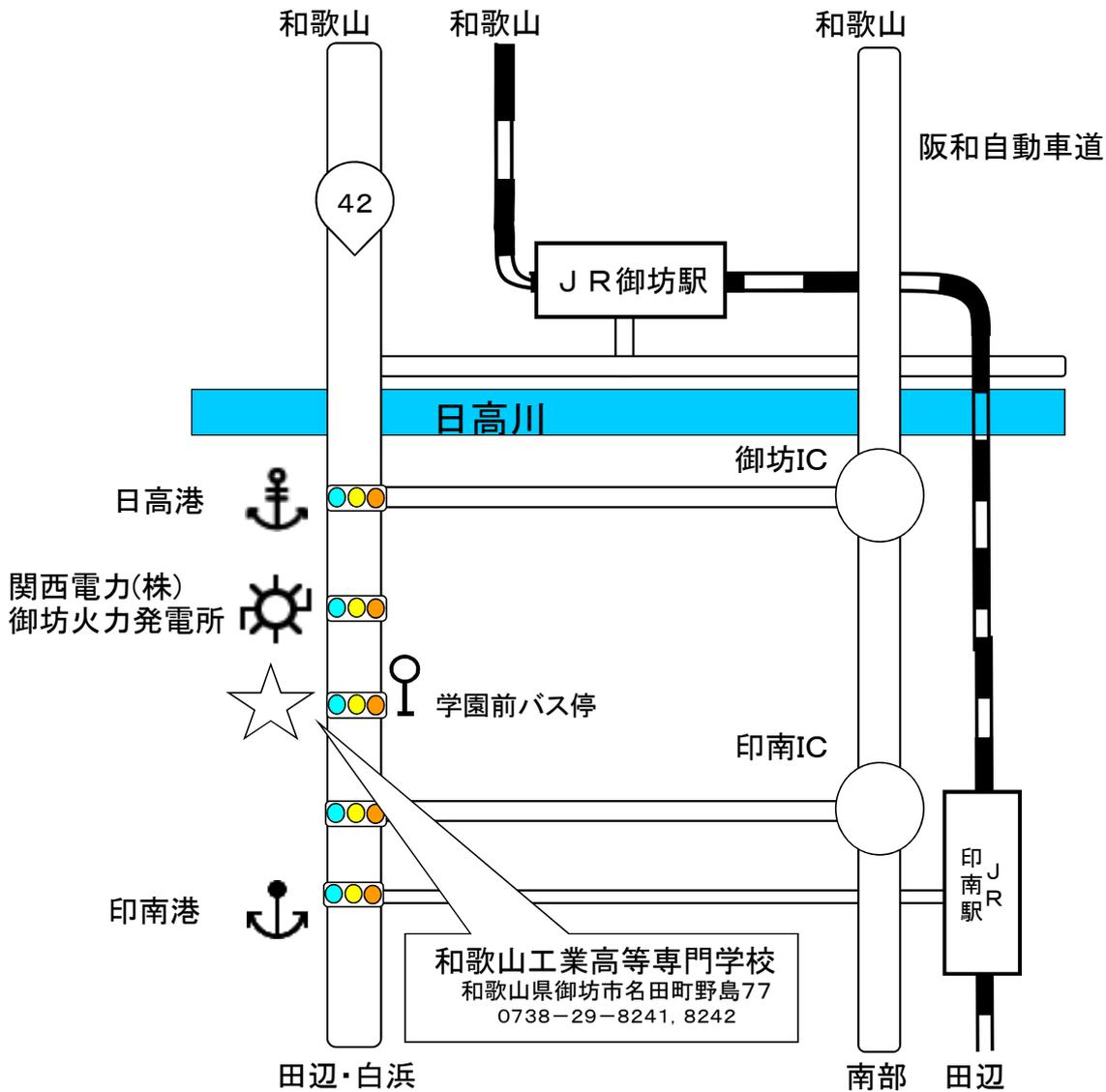
#### ・大学編入学

高専の卒業生を数多く受け入れる長岡及び豊橋技術科学大学をはじめ多数の国公立大学が編入学制度を実施しています。

[主な進学先] (令和5年3月卒業生)

北海道大、弘前大、埼玉大、横浜国立大、金沢大、岐阜大、京都工芸繊維大、大阪公立大、大阪工業大、和歌山大、徳島大、高知大、九州大、豊橋技術科学大、長岡技術科学大、和歌山高専専攻科 他

# 和歌山工業高等専門学校案内図



## 熊野御坊南海バス時刻表（抜粋）

（令和5年3月現在）

御坊駅	学園前	印南駅	学園前
8:05 →	8:26 ※	7:43 →	7:53
8:10 →	8:31 ※	8:50 →	9:00
8:15 →	8:36	10:20 →	10:30
9:40 →	10:01	12:00 →	12:10
11:20 →	11:41	13:25 →	13:35
12:50 →	13:11	14:35 →	14:45 ※
14:00 →	14:21 ※		
14:18 →	14:39		

学園前	御坊駅	学園前	印南駅
12:10 →	12:30	11:41 →	11:50
13:35 →	13:55	13:11 →	13:20
14:45 →	15:05 ※	14:21 →	14:30 ※
15:02 →	15:22	14:39 →	14:48
16:37 →	16:57	16:14 →	16:23
17:25 →	17:45	17:49 →	17:58
18:12 →	18:32		

※ は、平日のみ

## 交通案内

- JR「御坊駅」下車、駅前から熊野御坊南海バス「印南駅」行きに乗車し、「学園前」停留所で下車。（所要時間約20分）  
JR御坊駅からタクシーを利用した場合は所要時間約15分。（御坊駅より本校まで約10km）
- JR「印南駅」下車、駅前から熊野御坊南海バス「御坊駅」行きに乗車し、「学園前」停留所で下車。（所要時間約10分）  
JR印南駅からタクシーを利用した場合は所要時間約10分。（印南駅より本校まで約5km）